

週間漁海況情報—2018年第35号

平成30年9月11日

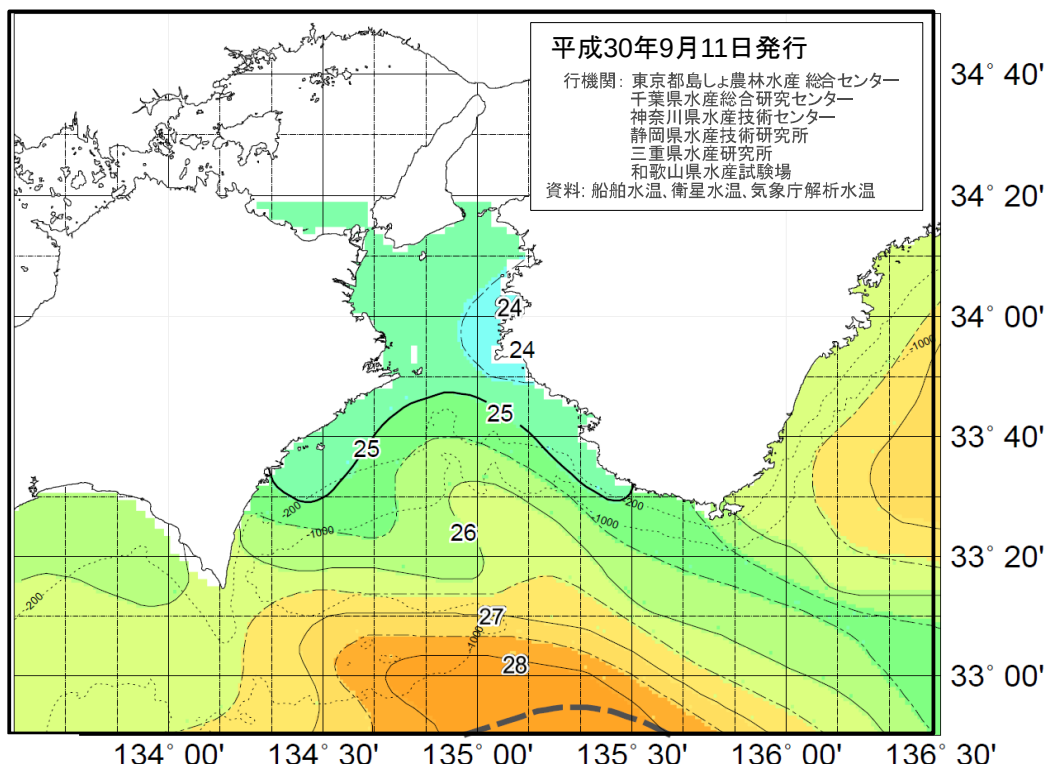
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(9月5日～9月11日)

黒潮は、室戸岬沖では6日には北上して「離岸」から「やや離岸」となったが、10日以降は再び南下して「離岸」となった。潮岬沖では10日までは「離岸」で推移していたが、11日には北上して「やや離岸」となった。

11日の徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道で24℃台、海部沿岸で24～25℃台と前週に比べて1～2℃程度低下した。海部沖合では黒潮北縁からの暖水波及がみられる。黒潮の表面水温は27～28℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

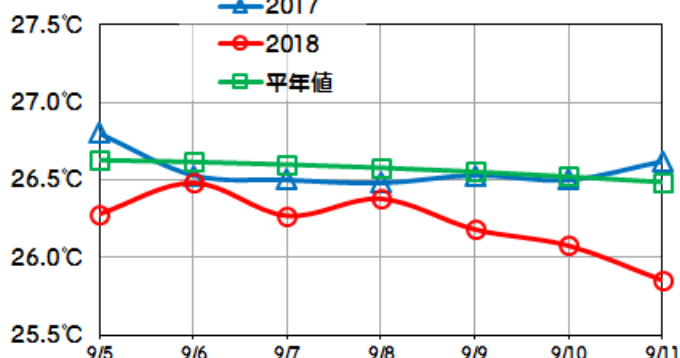
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(9月5日～9月11日)

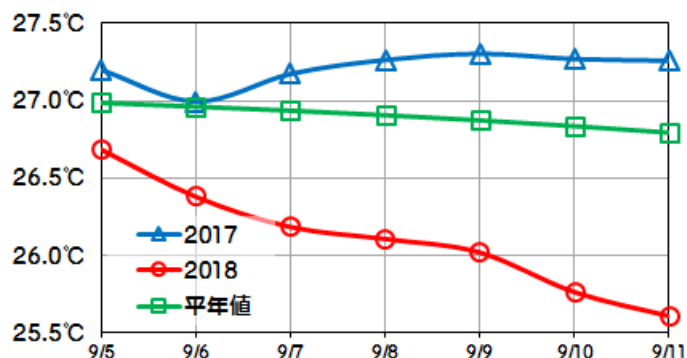
鳴門地区の地先水温は、「平年並み」から「やや低め」の25.9℃～26.5℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「平年並み」から「やや低め」の25.6℃～26.7℃で、右肩下がりで推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(9月12日～9月18日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「やや離岸」から「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや低め」の25℃台、日和佐地区は「やや低め」から「低め」の25℃台で推移する見込み。

漁況 2018年9月3日～9月9日（旧暦7月14日～7月20日）

台風21号の影響で操業が少なく漁獲量は減少した。

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、シラスが65.0㌧水揚げされた。

延縄では、ハモが2.2㌧、サワラが特大主体に0.2㌧、タチウオが特大主体に0.1㌧水揚げされた。

小型定置網では、ヘダイが1.0㌧、マダイが0.8㌧、カンパチが0.5㌧、マアジが小小主体に0.5㌧、ハモが0.4㌧、ハマフエフキが大主体に0.2㌧水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って8.5㌧、マダイが0.3㌧、イボダイが大主体に0.2㌧水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

延縄では、カサゴが0.1㌧水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが0.2㌧水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1㌧以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 （のべ）	魚種	漁獲量	（kg）	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	52	シラス	65,000	1,250		→
	延縄	14	ハモ	2,201	157	中主体	↘↘
		10	サワラ	235	23	特大主体	↘
		19	タチウオ	131	7	特大主体	↘↘
	小型定置網	19	ヘダイ	959	50		→
		20	マダイ	818	41		↗
		16	カンパチ	499	31		↘↘
		19	マアジ	482	25	小小主体	→
		19	ハモ	429	23	中主体	↗↗
		15	ハマフエフキ	182	12	大主体	↘↘
		10	メジナ	124	12		↘
		1	マイワシ	124	124		
	底びき網	23	ハモ	8,507	370	中主体	↘↘
		16	マダイ	335	21		↗
		15	イボダイ	227	15	大主体	↗↗
海部	延縄	4	カサゴ	108	27		↘↘
	小型定置網	3	カンパチ	248	83		→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘